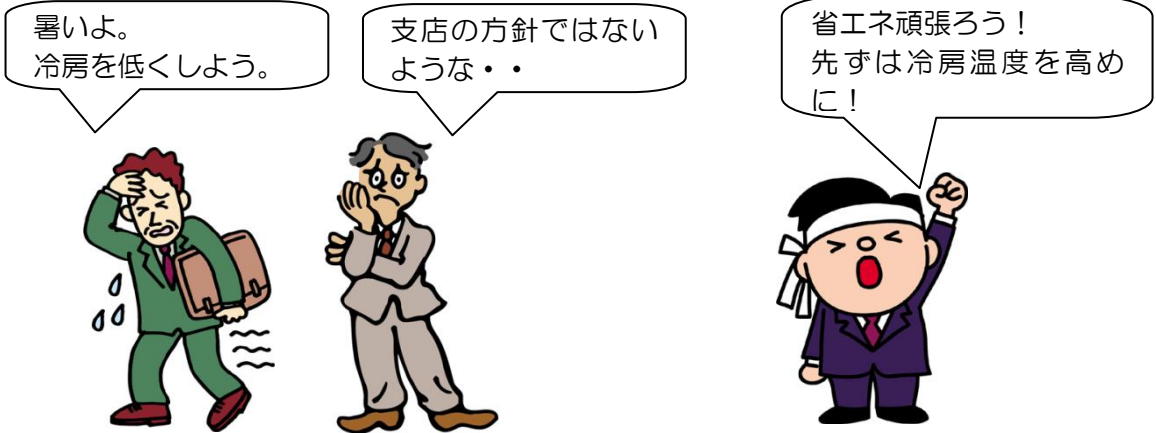


手法の大分類	■組織体制の整備 □エネルギー等の使用状況の把握 □運用対策 □保守対策 □設備導入対策	
実施主体	□本社等 ■支店等 □連鎖化事業者の本部 □テナントビルの所有者等 □テナント等	
対策項目	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮	
対 策 名	地球温暖化対策の方針等の設定	
内 容	実施目標	
地球温暖化対策に組織的に取り組むためには、先ず支店等の代表が明確な方針や目標を設定することが重要になります。	本社等が定めた方針及び目標を踏まえ、支店等におけるより具体的な取組方針及び取組目標を設定すること。	
①現状の問題点		
支店等としての地球温暖化対策に対する明確な方針がありますか？		
組織全体としての地球温暖化対策に対する認識が低いまま取組を行うと、省エネルギーの取組が現場や個人の工夫など個別的な対策にとどまり、取組効果が上がらない場合があります。 また、省エネに創意工夫をする熱心な従業員がいても支店等の代表や他の従業員に理解されないと、省エネに対する取組意欲が低下してしまうことになりかねません。		
		
組織としての方針が無ければ、個別対策さえ行われなくなります・・・		
支店等の代表が温暖化対策について明確な方針を定めることで、従業員一人ひとりが温暖化対策に取り組みやすい組織環境になるとともに、組織的かつ効率的に温暖化対策を推進できます。		
 支店等の代表が組織としての温暖化対策に対する方針を定めましょう。		

温暖化対策（省エネ対策）は、組織の光熱費の節減につながるものです。支店等の代表は、経営的視点を持って積極的で、わかりやすいメッセージを組織内に発信していきましょう。

②実施手順

（１）支店等の代表が方針を設定しましょう

- 各事業所を包括するような大きな目標設定をしましょう。
- 具体的でメッセージ性の強いものが一人ひとりのモチベーションを高めます。
- 短く端的な表現によるわかり易い方針設定を心がけましょう
- 方針の設定にあたっては、本社の方針を参考としましょう。

＜方針の具体例：方針は個別の支店等向けではなく、全社的な内容で構いません＞

～地球温暖化対策方針～

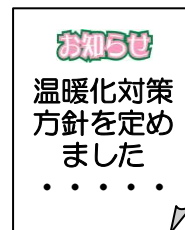
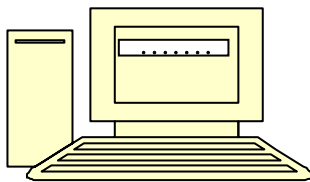
- 2～3年を目途に支店からの温室効果ガス排出量を把握していく
- 事業における無駄を徹底的に排除し、排出量を削減していく
- 工場は、生産性向上を追及し、製造単位当たりの排出量を削減していく
- 設備更新に併せて設備の効率化により排出量を削減していく

注：「支店をあげて温暖化対策に取り組んでいく」といった方針は、抽象的であり良い方針とは言えません。

（２）支店等の代表または温暖化対策担当（者）が、方針を全従業員に周知しましょう

- 組織の伝達経路を活用し、組織の方針であることを発信しましょう。
- 多くの従業員の目に付くように周知しましょう。
- 常に、目にすることができるよう表示を心がけましょう。

例）掲示板などで、
誰でも確認できるよ
うにしましょう！



HPやイントラネットを利用し、
誰もが常に認識できるようにした
り、職層から方針について従業員に
直接説明することも効果的です。

③効果

- 組織として温暖化対策に対する明確な方針を設定することで、内外に取組姿勢を示すことができます。組織方針の設定は、温暖化対策の開始宣言となります。
- 支店等の代表の力強いメッセージは、従業員一人ひとりの意欲を高めます。
- 従業員の取組を具体的に引き出す効果や、一人ひとりが積極的な提案を行える組織の環境づくりにもつながります。

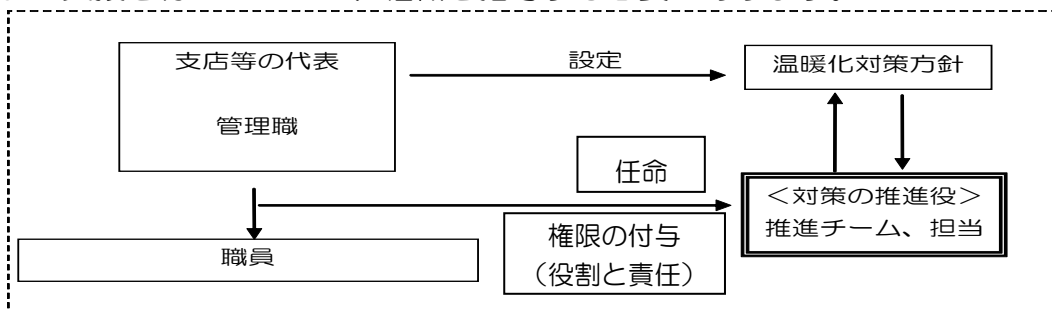
手法の大分類	☒ 組織体制の整備 ☐ エネルギー等の使用状況の把握 ☐ 運用対策 ☐ 保守対策 ☐ 設備導入対策
実施主体	☐ 本社等 ☒ 支店等 ☐ 連鎖化事業者の本部 ☐ テナントビルの所有者等 ☐ テナント等
対策項目	統括する立場にある者のリーダーシップの発揮
対 策 名	温暖化対策推進担当の配置
内 容	温暖化対策の推進のためには、実際に取組の推進役となる組織や責任者を配置し、周知しましょう。
実施目標	地球温暖化の対策を推進する組織又は責任者を設置し、役割分担及び責任の所在を明確化すること。

①現状の問題点

温暖化対策の推進役となる部署・担当者は明確ですか？

温暖化対策を推進するためには、支店等の代表の理解とリーダーシップのもと方針や目標を設定し、取り組むことが重要です。しかし、目標設定しただけでは取組は進みません。取組を実行に移すために必要、かつ十分な権限を持った組織もしくは責任者（担当者）を配置することで、日々の省エネルギーの取組を確実に、かつ継続的に実施することができます。

担当組織または担当者が曖昧な場合もしくは、必要かつ十分な権限がない場合には、他の従業員の協力も得られないなど温暖化対策担当者が実際に対策を推進していくことが非常に難しくなります。支店等の代表は、せっかく設置した担当が困らないよう支援を行うとともに、組織を指導する必要があります。



支店等の代表が担当組織、担当者を配置し、権限を与えることで省エネルギーの推進体制が明確になり、継続的な対策を実施することができます。また、継続的な対策の実施により、省エネルギーの効果が高まります。



温暖化対策推進担当組織や担当者を任命して、省エネルギーを推進しましょう！

組織の支店等の代表が、温暖化対策推進組織や担当者を任命し、地球温暖化対策の立案、実行に必要な権限を与えて、全従業員に向けてそれを周知していくことが必要です。

②実施手順

ここでは、各支店等としての対策を企画立案し、実行していく役割の温暖化対策推進担当組織や担当者の選任の方法について説明していきます。

(1) 支店等の代表が、温暖化対策推進担当組織、担当者を任命しましょう

具体的には、CSR担当や施設保全担当が適しています。
※ 担当としての適当な部署に困った場合には、エネルギーの使用量を収集・把握できる管理部門に担当を設置していくことも一案です。

(2) 支店等の代表が、温暖化対策推進担当の責任と権限を明確化しましょう

辞令を正式発令するなど担当組織や担当者の位置付けと権限を明確化するとともに、組織図や座席表に「担当」を明記し、担当の実効性を確保しましょう。

(3) 支店等の代表は、温暖化対策推進担当組織、担当者を設置したら、職務内容を周知していきましょう

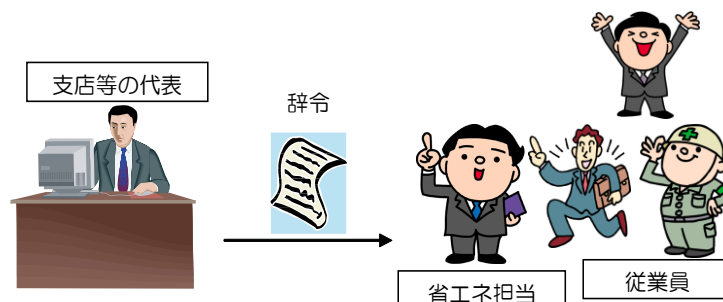
- 支店内用の連絡票や社内イントラネット、メールなどを活用し、支店等の代表の名前において地球温暖化対策推進担当組織、担当者およびその権限を全社員に周知徹底しましょう。

(4) 温暖化対策推進担当（者）の役割

温暖化対策推進担当（者）の役割

- 支店等のエネルギー使用量の収集・整理・分析
- 温暖化対策の情報収集
- 温暖化対策の立案
- 温暖化対策の進行管理

全従業員に分かるように！



③効果

- 温暖化対策推進担当者の意識向上と、継続的な推進体制の確保により、組織全体の効率的な地球温暖化対策の推進が可能になります。

手法の大分類	■組織体制の整備 □エネルギー等の使用状況の把握 □運用対策 □保守対策 □設備導入対策
実施主体	□本社等 ■支店等 □連鎖化事業者の本部 □テナントビルの所有者等 □テナント等
対策項目	推進体制の整備

対 策 名

具体的な取組目標と内容の設定

内容

地球温暖化対策は、従業員一人ひとりの取組に支えられて効果を発揮します。地球温暖化対策の推進のため、従業員の働く環境に適した具体的な取組目標や具体的な取組内容を設定し、周知しましょう。

実施目標

責任者が定めた方針の下に支店等における具体的な取組目標及び取組内容を、推進担当者（部署）が設定すること。

①現状の問題点

温暖化対策の実践にあたり方針だけにとどまっていませんか？

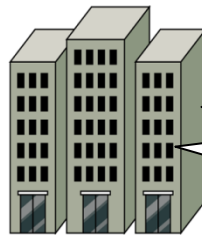
地球温暖化対策を推進するためには、支店等の代表の方針を、現場の状況に合った具体的な目標や対策内容として設定し、全従業員の共通理解のもとで実施する必要があります。

例えば、方針があるだけでは事業所等の従業員は具体的に何をすれば良いのか分からずに困ることがあります。

温暖化対策担当者は支店等の代表の目標や方針を噛み砕き、各支店に応じた分かり易い対策を提示していく必要があります。

事業活動による温室効果ガスの排出削減！！

対策の取組方法がわからない



具体的な取組内容無し

具体的な取組目標や内容を設定することで、各事業所で実際に対策を実践することが可能となります。



従業員一人ひとりの継続的な取組を後押しするような、誰もが分かり易い取組内容を設定しましょう！

取組目標、内容の設定にあたっては、現場の状況や課題を認識し、各支店等で実際に行動に移せる対策として示していくことが重要です。

②実施手順

(1) 温暖化対策担当(者)は、各支店等の状況、課題を把握しましょう

- 各支店等の事業形態、用途別のエネルギー使用量などを把握しましょう。
- 実際に働いている人のほうが、問題に気付いている場合が多いと考えられます。実際に現場に赴き、現場の声を聞いてみましょう。
- 取組の設定にあたっては、本社の取組内容を参考としましょう。

(2) 温暖化対策担当(者)が実際に取組内容を設定しましょう

- 現場にとって無理の無い取組内容にしましょう。負担感を与えるような取組は、継続しないことがあります。
 - 誰が何を行うのかなど、端的で分かり易く、具体的な取組内容を提示しましょう。
- 例) 都が示す重点対策の活用を検討してください。

＜具体例＞

⇒「最終退社者は消し忘れを確認し、点検表に記入する」
誰が 何を どうする

誰にも誤解のない表現
を心がけましょう！

(3) 温暖化対策担当(者)は、取組内容を周知し、徹底しましょう

- 取組内容について、組織内のコンセンサスを得ましょう。
- 支社内部の連絡票や社内イントラネット、メールなどを活用し、取組内容を伝達し、徹底しましょう。
- 組織の伝達経路を活用し、組織全体の目標、組織としての取組内容であることを伝えましょう。

(4) 取組の実施状況を確認しましょう

- 設定した取組の実施状況を確認しましょう。確認にあたっては、点検表などを用いると良いでしょう。

事業活動による温室効果ガスの排出削減！！

組織的な取組方針を
ブレイクダウン

～具体的な取組内容～
目標：事務所の不要なエネルギーを削減する。

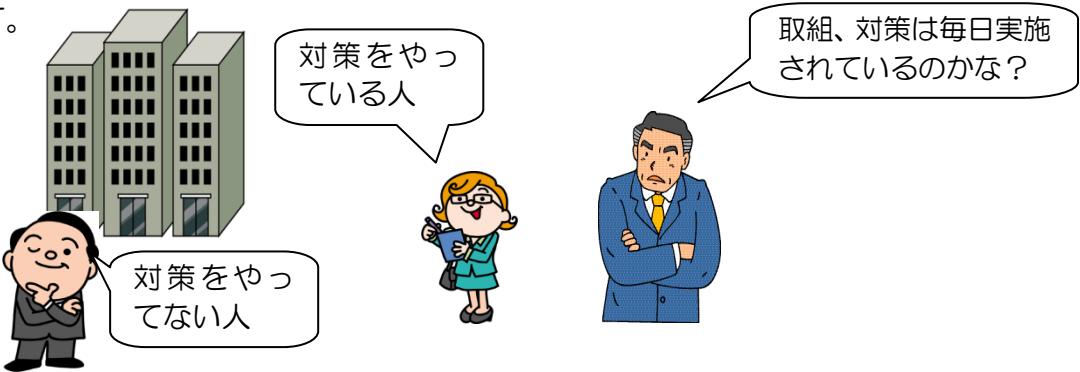
- ・ 空き室・不在時のこまめな消灯
- ・ 昼休み時の照明消灯の実施
- ・ 個人用端末の不要・離席時停止

温暖化対策担当

ナルホド！
ナルホド！

③効果

- 具体的な取組内容を提示することで具体的な行動が可能となり、支店等の取組の効果が高まり、かつ、取組状況の検証も容易となることから、結果として省エネルギーが推進されます。

手法の大分類	☒ 組織体制の整備 ☐ エネルギー等の使用状況の把握 ☐ 運用対策 ☐ 保守対策 ☐ 設備導入対策	
実施主体	☐ 本社等 ☒ 支店等 ☐ 連鎖化事業者の本部 ☐ テナントビルの所有者等 ☐ テナント等	
対策項目	推進体制の整備	
対 策 名	取組状況の点検体制の構築	
内 容	定期的に取り組む状況を点検することで、支店等における対策の進捗状況を知り、取組を確実に実施させることができます。また、点検の中で現場の声を聞き、対策の実施上の問題点などを把握していくことができます。	
実施目標	取り組み状況を定期的に点検する体制を構築すること。	
①現状の問題点 せっかく設定した取組目標や内容について、実施状況や課題を把握していますか？ 取組目標や内容を設定しただけでは、省エネルギー対策は進展していきません。対策の進捗状況を知ることで、次の対策や取組へと進むことができます。 取組の点検体制が整備されていないと、対策の進捗状況を把握することが難しくなります。  取組状況を定期的に点検する体制を整備することで、支店等における取組状況を確認することが可能になるだけでなく、取組内容の問題点の発掘にもつながります。また、点検体制の構築は、省エネルギーのPDCAサイクル確立のための第一歩です。  定期的な点検を継続的に実施できるような、組織的な体制を構築しましょう！		

点検体制の構築は、各支店等における温暖化対策の取組状況を確認できるだけでなく、温暖化対策のPDCAサイクル※の確立への第一歩にもなります。

※PDCA サイクル・・・Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)

という改善プロセスを継続することでより良い成果を期待するものです。

②実施手順

(1) 支店等の代表は、取組状況の点検体制を整備しましょう

- 温暖化対策担当（者）を中心とした、取組状況の点検体制を整備しましょう。
- 何のために、こういった点検を行うのか明確化しましょう。
- 点検を実施することについて、周知しましょう。

(2) 点検者（体制）は、支店等における取組状況を点検しましょう

- 具体的な取組内容を記載した、点検表を用いることが効果的です。
- 取組状況の点検は、定期的の実施しましょう。抜き打ちの点検なども効果的と考えられます。ただし、職場で過度の負担感とならないような配慮が必要です。

<点検表の例>

A支店の温暖化対策の取組状況記録。

対策内容	4月1日		4月2日		4月3日		4月4日	
昼休み消灯	済	〇〇	済	〇〇	済	□□	済	〇〇
WCの消灯確認	済	〇〇	済	〇〇	済	〇〇	済	〇〇
退社時の消灯確認	済	〇〇	済	△△	済	〇〇	済	〇〇

左側 取組状況

右側 実施者名の記載



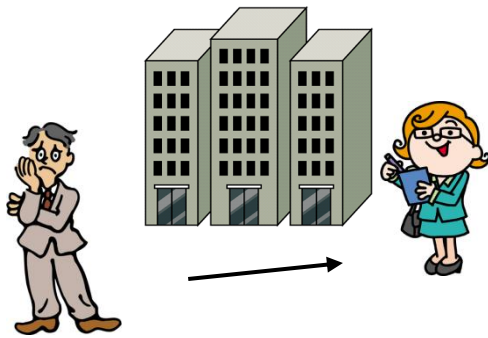
温暖化対策推進担当者

(3) 温暖化対策担当（者）は、点検結果を共有し活用しましょう

- 点検の結果は、必要に応じて社内連絡票や社内イントラネットなどを活用し共有化しましょう。
- 取組が実施されていない場合には、その理由などを聞き取りましょう。
- 職場の意見は、対策の修正・見直しや次の対策立案に活かしましょう。

③効果

- 点検体制を構築することで取組の進行管理が可能になり、取組の継続性が高まります。
- 定期的に点検することで職場の意見を把握しやすくなり、取組内容の改善や、より効果的な省エネルギーの取組につながります。

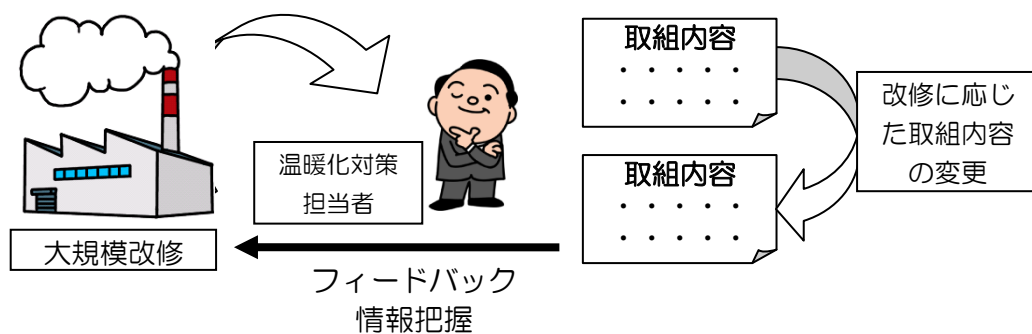
手法の大分類	☒ 組織体制の整備 ☐ エネルギー等の使用状況の把握 ☐ 運用対策 ☐ 保守対策 ☐ 設備導入対策	
実施主体	☐ 本社等 ☒ 支店等 ☐ 連鎖化事業者の本部 ☐ テナントビルの所有者等 ☐ テナント等	
対策項目	推進体制の整備	
対 策 名	取組内容や点検体制の定期的改善	
内 容	目標及び取組状況の点検体制については、定期的に点検を行い、問題等がある場合には改善していきましょう。 設定した目標及び取組状況の点検体制については、一定期間、定期的に精査を行い、必要に応じて改善すること。	
①現状の問題点 省エネルギー対策の取組目標・取組内容・点検体制について、見直しを行っていますか？ 実効性のある省エネルギー対策の取組を行うためには、定期的に取り組内容、取組状況を点検し、それを取り組内容や取組目標へとフィードバックすることでPDCAサイクルを構築する必要があります。 しかし、点検体制の見直しが行われない場合、点検する対象、内容が偏り、実施される取組とそうでないものとの差が生じる懸念があります。 点検体制についても定期的に精査を行い機能について確認するとともに、場合によっては改善していく必要があります。  点検体制 今度は、誰から取組状況の報告をもらえば良いのかな？ 取組状況の点検体制について、一定期間、定期的に精査を行い、必要に応じてこれを改めることで点検機能を維持し、PDCAサイクルを適切に運用することができます。 取組の点検体制を精査し必要に応じて改めましょう！		

取組状況の点検を活かして、PDCA サイクル※を適切に機能させることで、取組内容だけでなく、点検体制についても定期的に見直し、改善して温暖化対策への取組機能を維持していきましょう。

※PDCA サイクル・・・Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)
という改善プロセスを継続することでより良い成果を期待するものです。

②実施手順

- (1) 温暖化対策担当（者）が、取組状況の点検体制を確認しましょう
 - 支店等で定めた取組状況に対する、現行の点検体制を確認しましょう。
 - 点検の実施状況や点検内容を把握しましょう。点検表があれば、それを活用し、誰がいつ点検を実施しているかを整理しましょう。
- (2) 温暖化対策担当（者）は、省エネルギーの進捗状況を把握しましょう
 - 支店等の目標と、現状のエネルギー使用量との差を把握し、取組内容の点検により PDCA サイクルが構築され、取組内容が向上しているかどうかを確認しましょう。
- (3) 支店等の代表および温暖化対策担当（者）が、課題を抽出しましょう
 - 温暖化対策担当（者）の自己確認や、支店等の代表による確認によって点検体制における課題を抽出しましょう。
 - 取組の進捗が思わしくない場合には、取組内容や点検体制に問題がある場合もあります。
- (4) 支店等の代表が、実際に体制を改めましょう
 - 確実に、改善すべき点を克服できる体制を整備しましょう。例えば、点検体制に取組の実施を促す力、権限が不足している場合には、権限をより強化しましょう。
- (5) 改善法策定のワンポイント
 - 新たな体制が整備された後も、定期的に点検体制の精査を継続しましょう。



③効果

- 設定した目標及び取組状況・実施・点検体制の定期的な点検により、省エネルギー推進体制における PDCA サイクルが構築され、省エネルギーの取組の維持向上が可能になります。

手法の大分類

■組織体制の整備 □エネルギー等の使用状況の把握
□運用対策 □保守対策 □設備導入対策

実施主体

□本社等 ■支店等 □連鎖化事業者の本部
□テナントビルの所有者等 □テナント等

対策項目

推進体制の整備

対 策 名

所内の温室効果ガス排出量を集計

内 容

支店等において省エネルギーを推進するためには、支店等で使用しているエネルギー使用量を把握し、支店等のエネルギー使用の現状を認識することが重要です。

実施目標

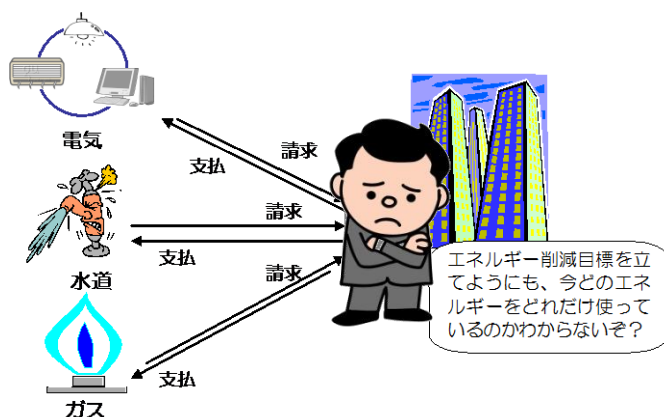
支店等ごとに、温室効果ガスの排出状況を把握すること。

①現状の問題点

支店等のエネルギー使用量を把握していますか？

毎月のエネルギー代金の支払いに伴い、エネルギー供給会社から送付される検針票や請求書などにより、エネルギー使用量は把握できます。電力、ガス、油類、水道等の種類ごとに把握していくことが有効ですが、テナントビルの場合、エネルギー代金が共益費として一括となっており料金の内訳さえ不明、ということはありませんか？

エネルギー使用量の見える化は、省エネルギーの第一歩です。エネルギー使用量が把握できなければ、その事業所の傾向を知ること、ましてこういった問題があるのか検討することも難しくなり、効果的な省エネルギー対策に繋がらなくなります。



毎月使用料金の支払いだけにとどまっていますか？
少しの手間をかければエネルギー使用量が把握できます。

エネルギー使用量の把握が、省エネルギーの推進の第一歩です。エネルギー供給会社からの請求書など自ら把握できる情報により、それぞれの燃料種ごとに支店等のエネルギー使用量を把握しましょう。



月別のエネルギー種別ごとの使用量を把握しましょう！

エネルギー使用量は、電力、ガス、油類、水道などの請求書や検針票に記載された数値から把握可能です。一括払いの場合には、本社において事業所のエネルギー使用量を把握してもらいましょう。また、年間に渡り集計することで、構成比や特徴を把握しましょう。

②実施手順

- (1) エネルギー担当(者)は、エネルギー供給会社(電力、ガス等)の検針・請求書を利用できる場合には、それらを整理しましょう
 - 電力、ガス、油類、水道などの種類ごとに請求書を整理しましょう。月ごとに把握することで、エネルギー使用量の季節変動を知ることができます。
- (2) エネルギー担当(者)は、エネルギー供給会社(電力、ガス等)の検針・請求書を利用できない場合には、以下の方法により把握することを検討しましょう
 - 本社が一括払いを行っている場合には、本社に確認しましょう。
 - テナントなど請求書が入手できない場合には、テナントビルの所有者に問い合わせしてみましょう。(B102 参照)
 - 他にも、推計による方法の採用も検討しましょう。
- (3) エネルギー担当(者)は、月ごとのエネルギー使用量を集計しましょう
 - 得られたデータをもとに、月別のエネルギー使用量を集計しましょう。
 - 都のツールに各エネルギー使用量を入力することで、簡単に原油換算やCO₂ 排出量の計算を行えます。詳細は、以下の URL を参照ください。
<http://www.tokyo-co2down.jp/c1-jigyaku/j1/energy.php>
- (4) エネルギー担当(者)は、月ごとのエネルギー使用量を分析しましょう
 - エネルギー使用量を、同種、類似の事業所と比較しましょう。
 - 事業所規模の大小によりエネルギー使用量は変化しますので、比較にあたっては1 m²あたりのエネルギー使用量(原単位と言います)の使用をお勧めします。
 - 比較の結果、同種、類似事業所に比べ著しくエネルギー使用量が多い場合には、設備や運用に問題があると考えられ、都の無料診断の受診など、何らかの取組が必要です。
 - 用途別のエネルギーを把握することで、エネルギー構成比を作成しましょう。また、月別のエネルギー使用量から、季節変動を分析しましょう。

電力：●●●kWh/年
内訳：1月分＝・・・
ガス：○○○m³/年
内訳：1月分＝・・・
水道：△△△m³/年



現状の把握と分析
で、効果的な取組に
つながります！

③効果

- エネルギー使用量を集計することでエネルギー使用量の把握や、省エネルギー対策の効果の把握が可能になります。
- 同種、類似事業所と比較することで、事業所の特徴、傾向などを知ることができます。
- エネルギー使用量や、エネルギー使用の傾向、構成などを把握することで、有効な対策の立案や事業所に適した省エネルギー対策の実施が可能になります。

手法の大分類	☒ 組織体制の整備 ☐ エネルギー等の使用状況の把握 ☐ 運用対策 ☐ 保守対策 ☐ 設備導入対策
実施主体	☐ 本社等 ☒ 支店等 ☐ 連鎖化事業者の本部 ☐ テナントビルの所有者等 ☐ テナント等
対策項目	推進体制の整備

対 策 名

排出状況の整理・分析・提供

内 容

支店等のエネルギー使用量を把握・整理し、その情報を従業員と共有するとともに本社等への情報伝達を行うことで、本社が他支店の情報を得ることができるため、より効果的な省エネルギー対策を実施していくことができます。

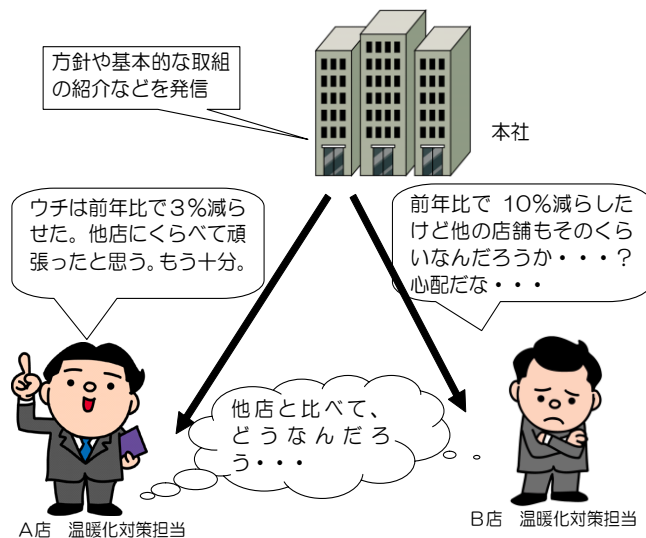
実施目標

把握した温室効果ガスの排出状況等については、整理及び分析を行い、支店等内の従業員へ情報提供することなどにより事業所等内で共有するとともに、本社等への情報提供も積極的に行い、事業者全体で共有すること。

①現状の問題点

エネルギーデータを整理・分析し、本社へ提供していますか？

支店等では、エネルギー会社への支払いなどにより自らのエネルギー使用量等を入手することができるものの、他支店等のエネルギー使用量等まで入手することは困難です。本社が組織的に各支店のエネルギー使用量を収集し、省エネの観点から整理分析し、各支店に情報をフィードバックすることで、各事業所が事業者内での位置を認識することができます。



支店等においてエネルギー使用量を整理・分析し、本社等へ提供することで、本社は各支店等のデータを集計・整理・分析し、各支店等へ情報提供することが可能になります。それにより、支店等では自らのエネルギー使用量を同種の事業所（同じ会社の他事業所）と比較することで取組の効果を実感できます。また、自らの課題などが明確になり、効果的な省エネルギー対策が可能になります。



エネルギー使用量を整理・分析し、本社へ提供しましょう！

支店等では、収集したエネルギーデータを整理・分析し、支店内で共有しつつ本社へ情報提供しましょう。また、本社において各支店のデータを整理・分析し、その結果を各支店等へ情報提供するよう要求しましょう。

②実施手順

(1) 温暖化対策担当(者)は、エネルギー使用量を収集・整理・分析しましょう

- 各月の請求書などを整理しましょう。(廃棄しないようにしましょう)
- 使用量が計量されていない場合には、推計する方法を活用しましょう。(エネルギー会社と直接契約していない場合など)
- エネルギーデータを整理し、分析しましょう。
例) 単位面積あたりのエネルギー使用量や CO₂ 排出量を算出する など
- 都のツールに各エネルギー使用量を入力することで、簡単に原油換算や CO₂ 排出量の計算を行えます。詳細は、以下の URL を参照ください。

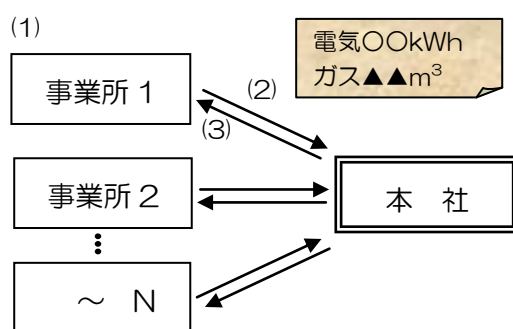
<http://www.tokyo-co2down.jp/c1-jigyou/j1/energy.php>

(2) 温暖化対策担当(者)は、エネルギー使用量の分析結果を支店等内部で共有しつつ、本社へ情報提供しましょう

- エネルギー使用量等のデータの分析結果については、支店等において支店内連絡票や社内イントラネットなどを活用し共有しましょう。
- エネルギー使用量等のデータの分析結果を本社へ提示し、他店との比較結果の送付をお願いしましょう。

(3) 本社の温暖化対策担当(者)は、支店等にエネルギー使用量の情報を提供しましょう

- 集計して分析した結果を、各支店に社内連絡票や社内イントラネットなどを活用し発信しましょう。データに取組状況なども記載すれば、より効果が高まります。
- 単位床面積あたりのエネルギー使用量を示すことで、各事業所が自らの状況を把握しやすくしましょう。提出にあたっては、実名を伏せるなどの配慮も必要です。
- 傾向を把握してアドバイスを添えるのも良いかもしれません。



③効果

- データの整理・分析結果を支店内で共有することで、従業員の意識が高まり効果的な省エネルギー対策の取組につながります。
- データの整理・分析にあたっては温暖化対策報告書を活用することが効果的です。
- 他の事業所と比較することで、支店がそれぞれの位置を認識し、問題点が把握しやすくなり効果的な省エネルギーの取組を行えます。

手法の大分類	☒ 組織体制の整備 ☐ エネルギー等の使用状況の把握 ☐ 運用対策 ☐ 保守対策 ☐ 設備導入対策	
実施主体	☐ 本社等 ☒ 支店等 ☐ 連鎖化事業者の本部 ☐ テナントビルの所有者等 ☐ テナント等	
対策項目	従業員の育成・啓発	
対 策 名	所内で温暖化対策情報の提供	
内 容	省エネルギーは、支店等の従業員一人ひとりが継続的に実践することにより効果を上げていくものです。支店等の従業員全員の理解を深め、意識を高める必要があります。	
実施目標	事業所等の従業員向けに地球温暖化の対策を推進する取組方法等の情報提供を実施すること。	
①現状の問題点 組織目標や具体的取組内容を支店等の従業員一人ひとりが理解していますか？ 取組内容と目標を実現するためには、支店等の全従業員一人ひとりが、温暖化対策を理解し具体的な行動に移していく必要があります。 都が示す重点対策も具体的な地球温暖化対策を示したのですが、その情報が全社員に行き渡らなければ実際に重点対策を実施することは難しくなります。 地球温暖化対策は一人ひとりの取組が重要であり、一人ひとりが取組内容を正確に理解することで初めて対策を実践することが可能となり、対策が効果を上げていくことになります。 都が示す重点対策等の地球温暖化の対策のうち、特に具体的な取組方法について支店等の全従業員一人ひとりが正確に理解できるように周知をすることで、地球温暖化の対策を確実に実施することが可能になります。 都が示す重点対策等の地球温暖化の対策を周知し、全従業員で対策に取り組みましょう！		

単に具体的な取組手法について情報提供するだけでなく、取組の必要性、目的などについても併せて周知しましょう。

②実施手順

(1) 温暖化対策担当(者)が、全従業員に情報発信しましょう

- 情報が多すぎると負担感が増してしまいます。情報を絞り込みましょう。
- 支店内連絡票や社内イントラネットなどを活用し、支店等の全従業員向けに都が示す重点対策等の地球温暖化の対策などを発信しましょう。
- 地球温暖化対策ハンドブックや、都が示す重点対策等の地球温暖化の対策の一覧を、従業員の目に触れやすい場所に設置することも効果的です。
- 繁忙期を避けて情報提供する工夫も必要です。

(2) 温暖化対策担当(者)が、周知結果を確認しましょう

- 全員に情報が行き渡ったかなど、周知の結果を確認しましょう。

例) 温暖化対策の取組状況の点検表をもって、周知の状況を判断することも考えられます。



一人ひとりが正確に理解し、取組に対する共通認識を持ちましょう！

③効果

- 支店等の全従業員の共通理解のもと対策を実施することで、対策の継続性や省エネルギー効果が期待できます。
- 支店等の全従業員の意識啓発を図ることで、現場において、現場からの効果的な省エネルギーへの取組が期待できます。

手法の大分類	☒ 組織体制の整備 ☐ エネルギー等の使用状況の把握 ☐ 運用対策 ☐ 保守対策 ☐ 設備導入対策
実施主体	☐ 本社等 ☒ 支店等 ☐ 連鎖化事業者の本部 ☐ テナントビルの所有者等 ☐ テナント等
対策項目	従業員の育成・啓発
対 策 名	温暖化対策提案制度の導入
<u>内容</u> 従業員が工夫した取組こそ、最も適した省エネルギー対策となります。また、省エネルギー提案の募集などにより、従業員の意識が高まります。提案内容を対策に取り入れていくことで、より優れた取組の発掘につながります。	<u>実施目標</u> 地球温暖化の対策の提案制度など、従業員の自発的な工夫を生かす体制を構築すること。
①現状の問題点 優れた取組を提案する雰囲気になっていきますか？ 支店等ごとに省エネルギーに対する問題、課題は異なることがあり、そこで働く人が課題に気づき、対策のアイデアを持っている場合があります。 省エネルギーの効果を高めるためには、支店等ごとに適した対策の実施が有効であり、そのためには、実際に対策に取り組む現場の従業員の意見を対策に反映していく必要があります。 寒いなら厚着しないで温度上げようよ！！ この職場って、毎年、夏になると寒い・・・ 感じていることを伝えないと、改善されません。 支店等の省エネルギーの推進のためには、実際の現場にあるアイデアを取り上げ共有することが大変効果的です。支店等にあるそういったアイデアが眠ったままでは、大変な損失です。アイデアの出しやすい雰囲気を作ることで、自発的な取組を推進していきましょう。 従業員が行う、省エネルギー対策への取組の工夫が組織全体で活用される制度を構築しましょう！	

提案数を増やすことで、効果は一層、高まります。提案が容易になるよう無記名方式にしたり、提案数を増やすため表彰制度・褒章制度を設けたりすることも効果的です。眠っている優れた工夫を掘り起こすため、従業員がやる気をもつような提案制度にしていきましょう。

②実施手順

(1) 温暖化対策担当(者)が、具体的に制度を構築していきましょう

- 優れた提案については表彰し、場合によっては褒賞金なども用意することで提案数が増加します。
- 半期に1回、1年に1回など、定期的に募集することで、さらに意識を高めることにつながります。

(2) 温暖化対策担当(者)は、省エネルギーに関する提案を募集しましょう

- 省エネルギーの提案を求める告知を支店内に掲示しましょう。
- 告知にあたっては、テーマを明確化しましょう。

<周知の例>

省エネルギー提案の募集のお知らせ
今年度の省エネルギー提案を募集します。
皆さんが日頃の業務中にもったいないと感じていることをもとに、職場で取り組める省エネルギー対策を自由に記入して回収ボックスに入れてください。優れた提案については、年度末に表彰します。

- ささいなことが重要なこともあります。自由な意見を引き出す上では、無記名での提案募集も効果的です。
- 提案の回収には、メールや回収ボックスなどを活用することも効果的です。
- 変わった意見や少数意見なども大切に扱いきましょう。

暑がりの方の席は、吹き出し口の近くや、建物の北側にしましょう。そして、軽装もお願いします。

私のように寒がりの方の席は、吹き出し口から遠いところや、建物の南側にしましょう。



提案することで取組が生まれ、改善されていきます！

(3) 温暖化対策担当(者)は、結果を従業員に周知しましょう

- 優れた提案は全従業員に周知し共有しましょう。
- 優れた提案は、本社へ情報提供しましょう。

③効果

- 優れた提案以外にも、提案の多かった内容を分析すれば「多くの人が疑問に思っていること」を把握し、対策に活かすこともできます。
- 現場の状況に見合った対策が実施されるため、省エネルギーの効果が高まります。
- 従業員から広くアイデアを募集することで職場の意識が高まり、省エネルギーが推進されます。

手法の大分類

☒ 組織体制の整備
 ☐ エネルギー等の使用状況の把握
☐ 運用対策
 ☐ 保守対策
 ☐ 設備導入対策

実施主体

☐ 本社等
 ☒ 支店等
 ☐ 連鎖化事業者の本部
☐ テナントビルの所有者等
 ☐ テナント等

対策項目

優良事例の共有化

対 策 名

優良事例の組織内共有体制の構築

内容

優良事例に関する情報等については、支店の従業員全員で共有化することで、新たな優良事例が派生することがあります。会議・研修などの報告のなかで解説を加えることにより、一歩進んだ理解を促し、意識の向上を図りましょう。

実施目標

優良事例について、イントラネット、研修会、表彰その他コミュニケーションツールを活用して、全体で共有すること。

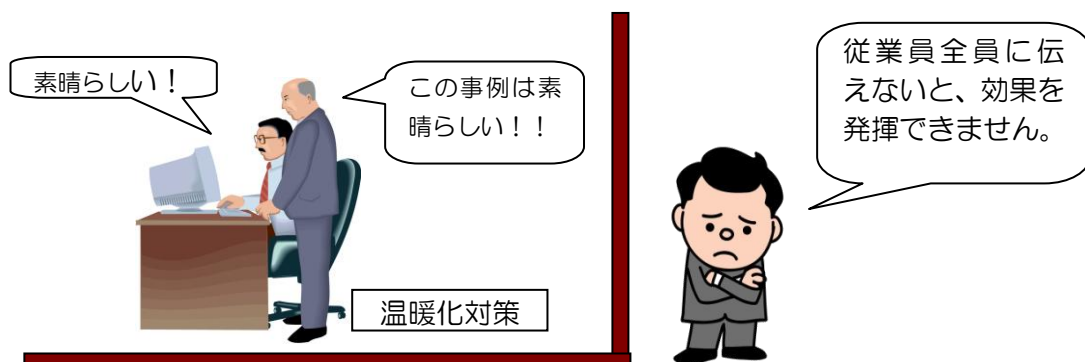
①現状の問題点

せっかく集めた優れた取組について支店等の従業員全員で共有していますか？

優れた取組は、省エネの実践者である従業員一人ひとりが知ってこそより大きな効果を発揮します。

例えば、同業、類似業種の成功例など有効な事例を収集し、担当が対策を反映するだけでは効果は限定的です。それを、支店等の全従業員に向け周知することで取組の効果が向上し、さらに優れた取組が生まれてくる可能性も高まります。

また、持ち帰った優良事例などの情報をそのままアナウンスするだけでなく、エッセンスを取り出し解説を加えつつ周知することで、理解を促し効果を高めることができます。



入手した優良事例を整理し支店等の全従業員で共有化することで、従業員一人ひとりの意識の向上と自社の取組の改善が期待できます。



優良事例の情報は支店等の従業員全員で共有化し意識の向上と、支店等の取組の改善を図りましょう！

同業、類似業種の優良事例、他業種の事例、運用改善によるもの、設備改修によるものなど情報を整理し、支店等の従業員全員で共有しましょう。

②実施手順

(1) 温暖化対策担当(者)は情報を整理し、伝える内容を絞り込みましょう

- 同業、類似業種の優良事例、他業種の事例、運用改善によるもの、設備改修によるものから支店等に適したものを選定しましょう。

(2) 温暖化対策担当(者)は周知方法を検討し、情報の共有化を図りましょう

- 支店等での取組の可能性、ポイントなど自らの支店の観点で解説を加え、自らの支店への導入が可能であれば支店の対策に位置付けて周知することの一つの方法です。
- 情報発信の方法としては、連絡票やイントラネット、会議や研修での報告などが考えられます。イントラネットは手軽に支店等の全従業員に情報発信できますが、会議や研修での報告は説明を加えることが可能となるため意識向上の効果が高いものです。
- 支店内の優れた取組事例を発見した場合にも、同様に連絡票やイントラネット、会議や研修などを通じて周知、共有を図りましょう。

優良事例など有効な情報は共有しましょう！



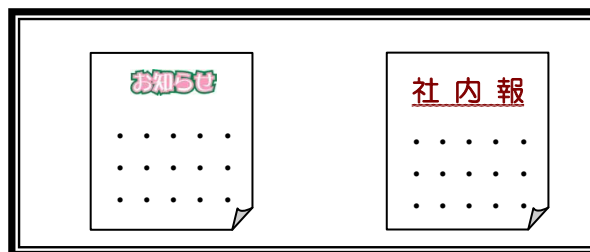
研修会で・・・



イントラネットで・・・



掲示板で・・・



③効果

- 優良事例等の情報を組織全体で共有することにより、従業員一人ひとりの意識を高めることができます。
- 優良事例を取り入れることで、支店等の省エネルギーの取組内容が向上するとともに、優良事例から派生する新たな地球温暖化対策が期待できます。